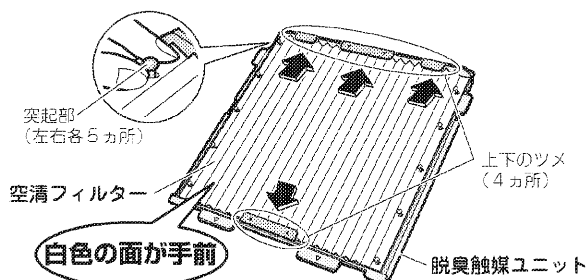
● 必ずプレフィルター（緑色）と空清フィルター（表：白色・裏：青色）を取り付けた状態で運転してください。
取り付けないで運転すると故障の原因になります。

4 空清フィルターを取り付ける。

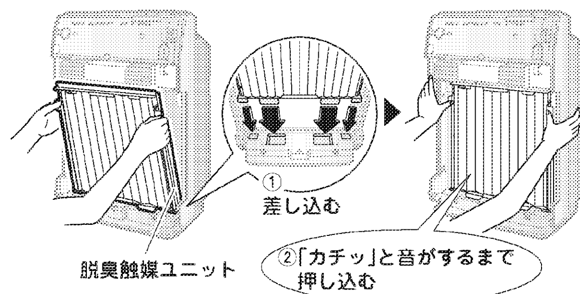
① 空清フィルターの左右の穴（各5ヵ所）を脱臭触媒ユニットの左右にある突起部（各5ヵ所）に引っかける。
② 空清フィルターを脱臭触媒ユニットの上下のツメ（4ヵ所）の下に差し込む。



● 空清フィルターをまちがって取り付けると、性能が低下します。

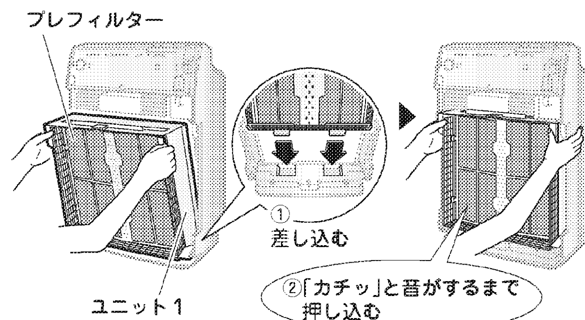
5 脱臭触媒ユニットを取り付ける。

● とっ手を持ち、本体下部の溝（4ヵ所）に脱臭触媒ユニットの突起部を差し込んで、本体へ押し込む。



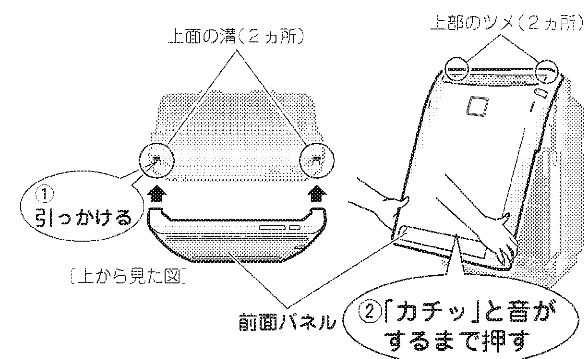
6 ユニット1を取り付ける。

● とっ手を持ち、本体下部の溝（2ヵ所）にユニット1の突起部を差し込んで、本体へ押し込む。



7 前面パネルを取り付ける。

● 本体上面の溝に前面パネルの上部のツメ（2ヵ所）を引っかけてパネルを閉じる。



前面パネルが正しく装着されていないと安全スイッチが作動し、運転しない場合があります。▶15ページ

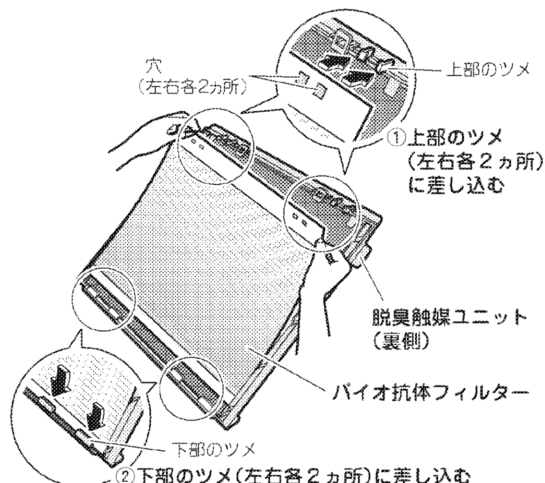
バイオ抗体フィルター（別売品）の取付け

バイオ抗体フィルターを取り付けなくても、空気清浄の機能に支障はありません。

1 脱臭触媒ユニットを外す。 ▶8ページ

2 脱臭触媒ユニット（裏側）にバイオ抗体フィルターを取り付ける。

詳しくは、バイオ抗体フィルターに記載の説明をご確認ください。



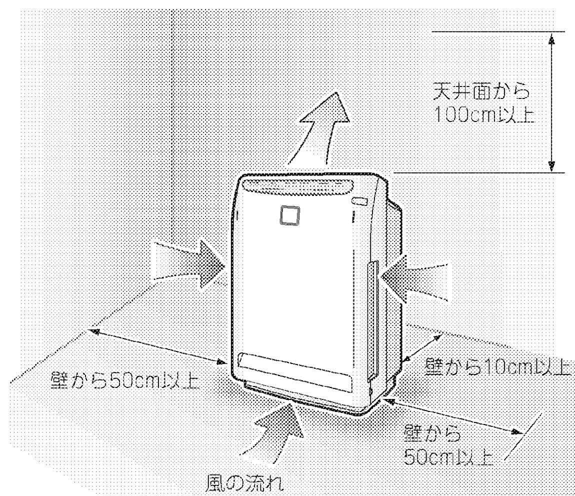
お知らせ

● バイオ抗体フィルターは別売品のため、付属されていません。ご入用の際は別途お買い求めください。（裏表紙参照）
● バイオ抗体フィルターはウイルスの除去スピードを速める専用フィルターです。空気が乾燥してウイルスが繁殖しやすい冬季などにお使いください。
● ご使用済みのバイオ抗体フィルターは不燃物ゴミとして処分してください。
（材質：ポリエステル／レーヨン系不織布）
詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。

準備する

3 設置

床置・卓上の場合

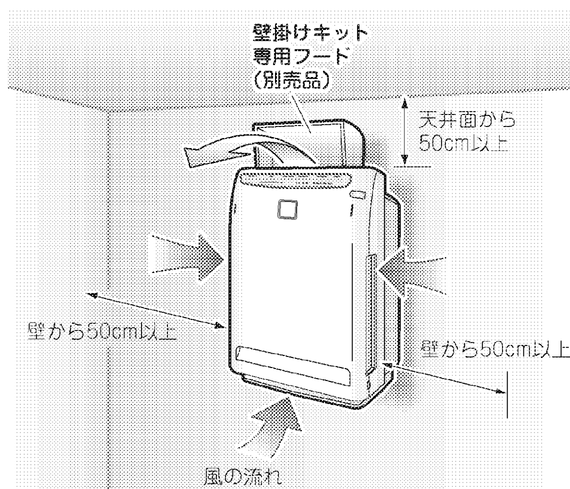


- 壁の種類や使用環境によっては、上記の設置寸法をお守りいただいても、壁が汚れる場合があります。その場合は、壁から十分に距離をとってご使用ください。
- 室内全体に風が行きわたる場所を選んでください。
- 風は少し右に傾いて吹き出しますが、異常ではありません。
- 本体の脚がしっかりとつく、安定した場所に置いてください。安定しない場所に置くと本体の振動が大きくなる場合があります。

壁掛けの場合

壁掛けキット（別売品）が必要です。

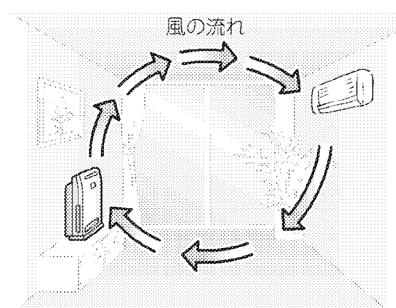
天井面から50cm以上離して取り付けてください。



- 壁掛けキット（別売品）はお買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にてお申し込みください。（裏表紙参照）
- 十分な強度のある壁、柱を選んでください。
- 壁の汚れが気になる場合は、壁掛けキット（別売品）に付属の専用フードをご使用ください。
- まれに、ご使用中に帯電した空気中のホコリが本体周辺に蓄積して壁面を汚すことがあります。その場合は、壁掛けキット（別売品）に付属の専用シートをご使用ください。

上手な設置方法について

- ハウスダストを取りたいときは部屋の低いところに、タバコの煙を取りたいときは部屋の高いところに設置すると効果的です。
- 空気清浄機をエアコンの反対側に設置すると、空気を循環させる効果を高めます。
  〈お部屋の冷暖房時には、空気をきれいにしながら室内温度の上下ムラを抑えます。〉
- テレビ、ラジオ、ステレオなどから本体を2m以上離してください。
  （本体内部の電源回路、電線の影響で画像が乱れたり、雑音の原因）
  コードレス電話、電波時計についても同様です。



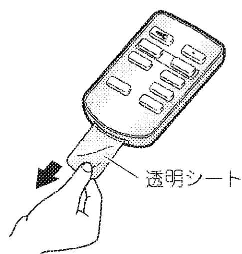
<こんな場所では使用しないでください>

- 直射日光のあたるところ。
  （リモコン受信感度の低下や変色の原因）
- 暖房器具のまわりなどの高温になるところ。
  （熱により変色、変形の原因）

4 リモコンの準備

■電池はあらかじめリモコンにセットされています。

● 透明シートを引き抜くだけで、お使いいただけます。



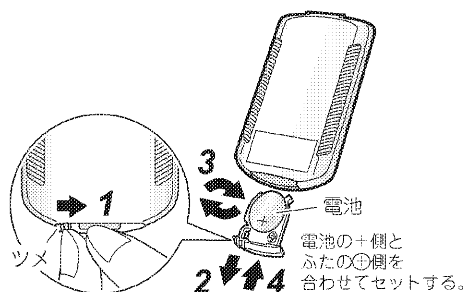
■電池交換のしかた

1 リモコン裏面のふたのツメを矢印の方向に寄せる。

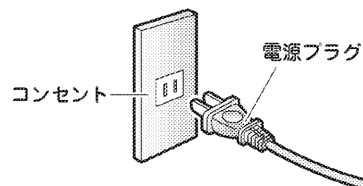
2 ふたを引き出す。

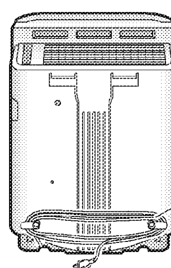
3 電池を入れ替える。

4 ふたをもとどおり閉める。



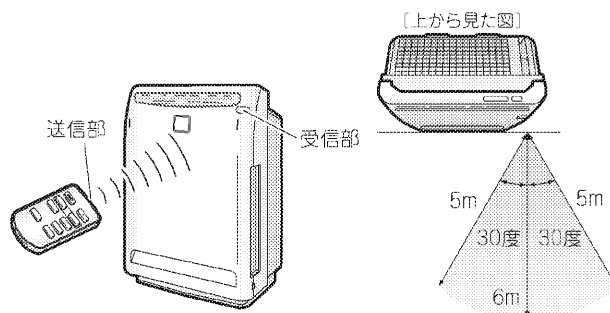
5 電源プラグをコンセントに差し込む





■使いかた

● リモコンの送信部を本体の受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると受信しないことがあります。
● 送信できる距離は直線で約６ｍです。



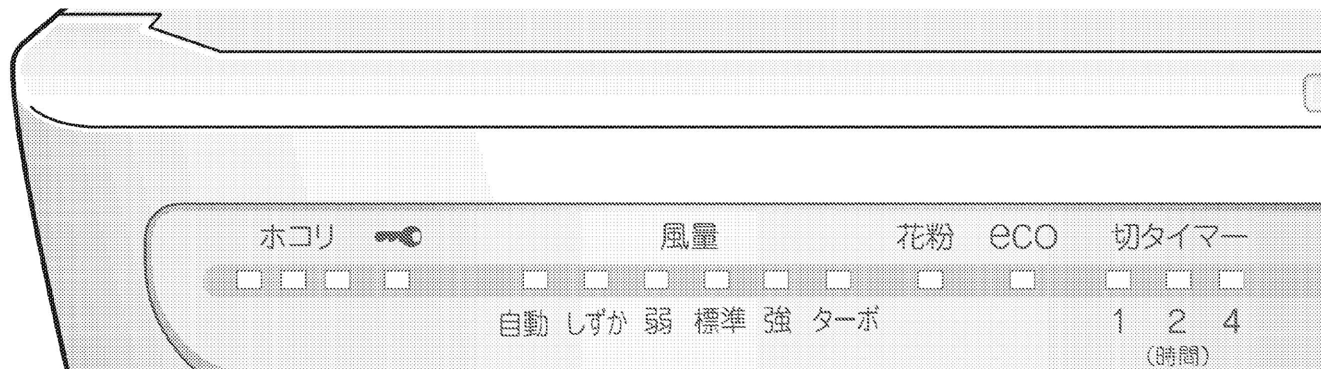
電池について

● 電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
● 電池を廃棄するときは、端子をテープなどで巻き付けて絶縁してください。
他の金属や電池と混じると、発熱・破裂・発火の原因となります。
● 電池は、お近くの電器店、時計店、カメラ店などにある電池回収箱に入れてください。
● 交換のめやすは約１年ですが、受信されにくくなりましたら、新しいボタン電池（CR2025）と交換してください。
● ボタン電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。
● 液もれや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合はボタン電池を取り出してください。
● 付属のボタン電池は、最初にお使いいただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。

リモコンについて

● リモコンを落としたり、中に水が入らないようにしてください。（故障の原因になります。）
● 電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）がある部屋では、信号を受け付けにくい場合があります。
● 照明器具の近く（1m以内）で使用しないでください。（リモコンの受信感度の低下、変色の原因になります。）

運転のしかた

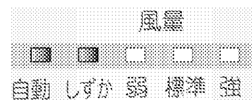


運転を始める

運転/停止 ［○］を押す。

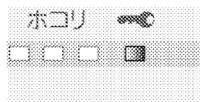
- 運転が始まり、風量ランプが点灯します。
- 運転中に 運転/停止［○］を押すと運転が停止します。
- 次回 運転/停止［○］を押すと、前回と同じ内容で運転します。

(初回表示例)



チャイルドロック お子様が誤って操作するのを防ぎたいとき。

- チャイルドロック(2秒押し)［🔑］を約2秒間押すと設定できます。
- 再度 チャイルドロック(2秒押し)［🔑］を約2秒間押す、または電源プラグを抜き、3秒以上たってから電源プラグを差し込んで運転すると解除できます。

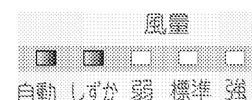


空気の汚れに応じて運転したいとき

風量「自動」運転

［自 動］を押す。

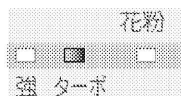
- 風量「自動」ランプとそのときの風量ランプが点灯します。



お部屋の空気を早くきれいにしたいとき

ターボ運転

［ターボ］を押す。



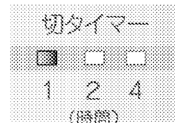
運転する時間を設定したいとき

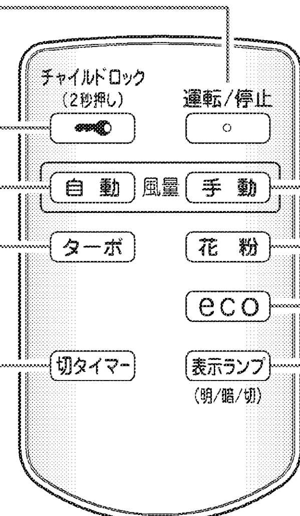
タイマー運転

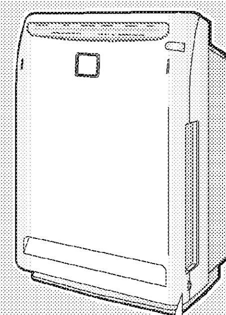
［切タイマー］を押す。

- 押すごとに設定時間が切り換わります。

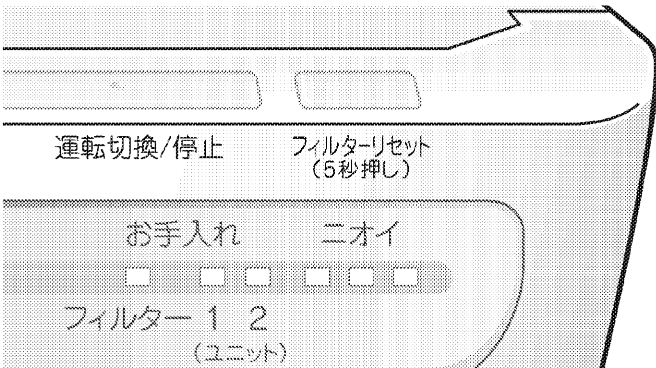
→1時間→2時間→4時間→切→







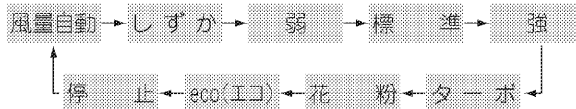
前面パネルが閉まっていることを確認してください。



本体でも運転することができます

運転切換/停止 を押す。

● 押すごとに運転モードが切り換わります。



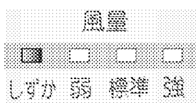
風量をお好みで変えたいとき

風量「手動」運転

手動 を押す。

● 押すごとに風量が切り換わります。

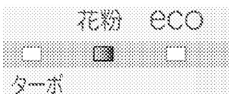
しずか→弱→標準→強



花粉が気になる季節には

花粉運転

花粉 を押す。

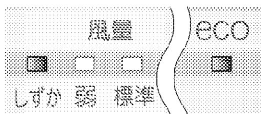


省エネ運転したいとき

eco(エコ)運転

eco を押す。

● eco運転ランプとそのときの風量ランプ（「しずか」または「弱」）が点灯します。



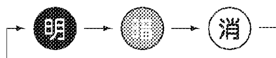
本体表示ランプの明るさを変えたいとき

表示ランプ を押す。
(明/暗/切)

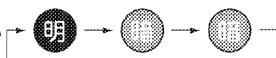
● 押すごとに、本体表示ランプの明るさが切り換わります。

● 完全に消灯するのは、ホコリセンサーランプとニオイセンサーランプのみです。

〈ホコリセンサー・ニオイセンサーランプ〉



〈それ以外の表示ランプ〉



お願い

● 運転中に電源プラグを抜いて運転を停止をしないでください。

● 運転中に本体を動かさないでください。
故障や誤作動の原因になります。

お知らせ

● 運転中に前面パネルを開くと、安全のため運転は停止します。

■ **運転中に誤作動したとき**
運転中に雷や無線などにより本体表示部が異常点灯したり、リモコン操作が不能になったときなどは、一度電源プラグを抜き、3秒以上待ってからもう一度電源プラグを差し込んで運転を開始してください。

運転／停止について

● 初期設定は、風量「自動」になっています。電源プラグを抜いた場合や、前面パネルを外して再度運転した場合は、風量「自動」にもどります。

● お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

風量「自動」運転について

● 空気の汚れ具合に応じて、自動的に風量（「しずか」「弱」「標準」「強」）を調整します。

● 清浄能力は、風量が強くなるほど向上します。

ターボ運転について

● 大風量で空気の汚れをすばやく取り除きます。お部屋掃除のときに使用すると便利です。

花粉運転について

● 5分ごとに風量が「標準」⟷「弱」に切り換わり、ゆるやかな気流をおこして花粉が床に落ちる前にキャッチしやすくします。

eco(エコ)運転について

● 空気の汚れ具合に応じて、「しずか」「弱」運転のみを自動的に調節します。

● 就寝中などに使用すると便利です。

タイマー運転について

● タイマー設定表示部に残りの時間のランプが点灯します。

● タイマー運転中も設定時間を変更することができます。

チャイルドロックについて

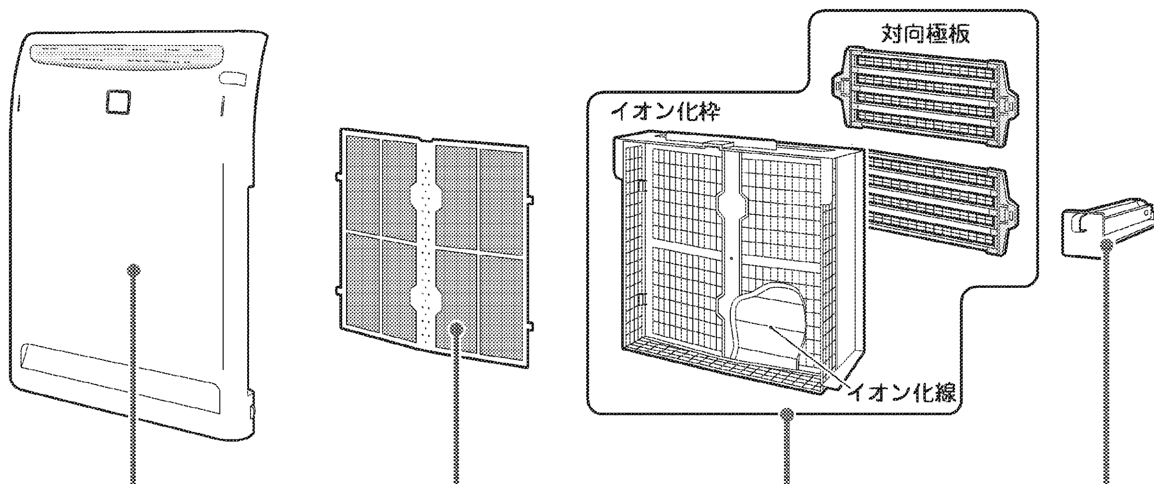
● 設定中は本体・リモコンの操作を制限し、お子様が誤って操作するのを防ぎます。

お手入れ早見表


警告

- お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。（感電やけがの原因）

お手入れの際の各部品の取外しは、数字の順番に行ってください。



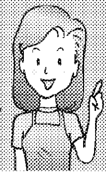
1 前面パネル	2 プレフィルター	3 ユニット1（プラズマイオン化部）	4 ユニット2（ストリーマユニット）
		（上図は対向極板を取り外しています。）	
汚れの気になるときに **ふき取り**	2週間に1度 **そうじき** **水洗い**	「ユニット1」ランプが点灯したら **つけおき**	「ユニット2」ランプが点灯したらまたは、ストリーマ放電の音質が変わったり、小さくなったら **つけおき**
● 水で湿らせたやわらかい布などで汚れをふき取る。 ● 汚れがひどいときは、家庭用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取る。 ● 硬いタワシなどを使用しない。	● 掃除機などでホコリを吸い取った後、水洗いする。 ● 汚れがひどいときは、やわらかいブラシや中性洗剤を使って洗い、日陰でよく乾かす。 水滴が残っていると「ユニット1」ランプが点灯する場合がありますので、十分に乾かしてからご使用ください。	● 掃除機などで表面のホコリを吸い取る。 ● ぬるま湯または水につけおきする。（約1時間） お手入れは ▶18〜19ページ	


警告

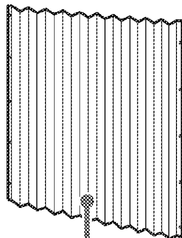
- ガソリン、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、灯油、アルコールなどは使用しない。（ひび割れ・感電・引火の原因）
- 本体を水洗いしない。（感電や火災・故障の原因）

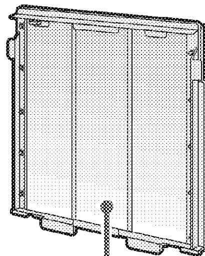
お願い

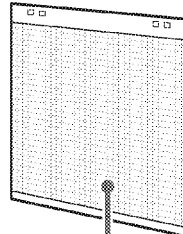
- 洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないようにふき取ってください。
- 直射日光のあたる場所で乾かさないでください。
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。
- 火であぶらないでください。
  変色や変形を起こし、使用できなくなります。

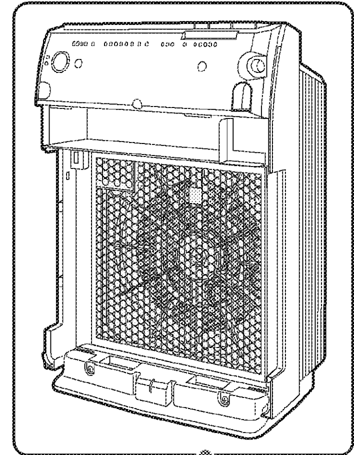


各部の取外し・取付けかたは
▶16ページ を参照してください。





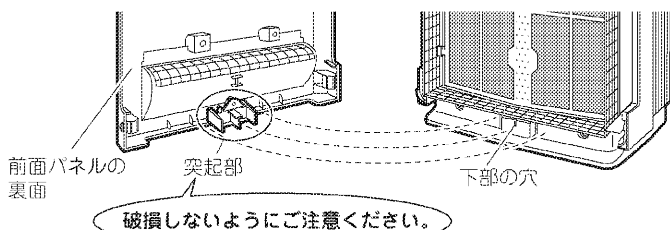




5 空清フィルター（プリーツフィルター）	6 脱臭触媒ユニット	7 バイオ抗体フィルター	8 本体・センサー用空気取入れ口
空清フィルター / 穴（左右各５ヵ所） / 脱臭触媒ユニット / 白色の面が手前	水洗いしない / 表面をこすらない	別売品	ホコリセンサー用空気取入れ口 / ニオイセンサー用空気取入れ口
フィルターランプが点灯または点滅したら **交換** 水洗い不可	汚れの気になるときに **そうじき** 水洗い不可	開封後約１年で **交換** 水洗い不可	ホコリなどで目づまりしたら **そうじき** **ふき取り**
交換のしかたは ▶20ページ	● 掃除機などでホコリを吸い取る。 ● 枠の汚れが気になる場合は、水で湿らせた布またはティッシュなどでふき取る。 汚れがひどいときは、家庭用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取る。 ● 水洗いはしない。 （水洗いすると使えなくなります。）	交換方法は、「バイオ抗体フィルターの取付け」を参照してください。▶9ページ	● 本体やセンサー用空気取入れ口にホコリなどがたまって目づまりしたら、掃除機などでホコリを吸い取る。 ● 本体は水で湿らせたやわらかい布などで汚れをふき取る。

お願い

● 取り外した前面パネルは、表面が傷付いたり、裏面の突起部が破損しないように注意してください。
裏面の突起部は、パネルを開くと電源が「切」になる安全スイッチの役目をしています。
破損すると、運転ができなくなりますのでご注意ください。



⚠ 警告

● 本体下部の穴の奥には触れない。
（感電のおそれ）
● 誤って破損し、運転できなくなった場合は、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。▶27ページ

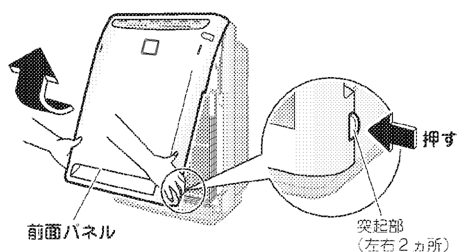
お手入れ

各部の取外し・取付け

取外しかた

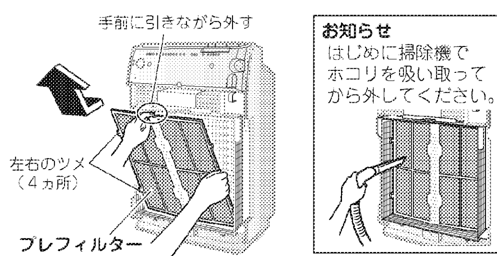
1 前面パネルを外す。

- 突起部（左右２ヵ所）を押して、手前に引き上げ、取り外す。



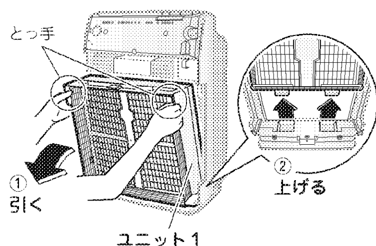
2 プレフィルターを外す。

- 上部の凹部に指を引っかけて手前に引き、左右のツメ（４ヵ所）をユニット１の左右の穴（４ヵ所）から外す。



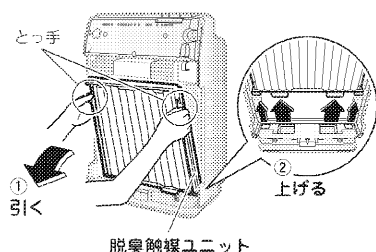
3 ユニット１を外す。

- とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

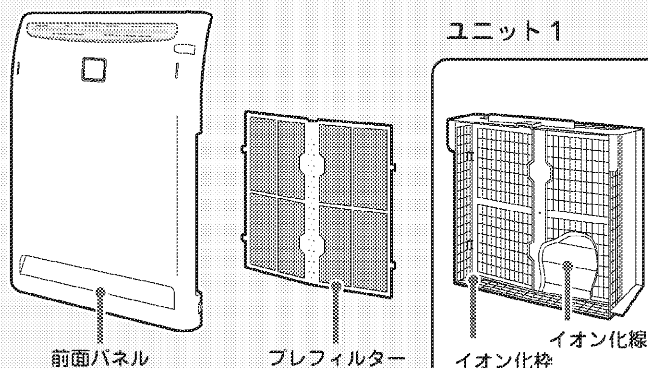


4 脱臭触媒ユニットを外す。

- とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。



●ユニット1のお手入れを行う場合は、以下の



対向極板の

ご注意

対向極板の取外し・取付けの際は**ゴム手袋**を使用してください。対向極板、イオン化線で手を切るおそれがあります。

取外し

① 白色と緑色のツマミ部（左右２ヵ所）を同時につまんで、対向極板を持ち上げて外す。

